

医療関係者の皆様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する NCGMセンター病院 消化器内視鏡診療の対応

本資料の内容は、新型コロナウイルスの流行情勢や社会情勢（物資の供給など）に応じて、適宜更新する可能性があることにご注意下さい。

特に、公的機関からのアドバイスが発表された際には、急な変更を加えることがあります。

1. COVID-19流行期における消化器内視鏡診療の適応（2020年4月20日現在）

- ・新型コロナウイルス感染症の流行期においては、各種ガイドラインや公的機関のアドバイスに準じ、「**緊急/至急**」症例以外は原則として**全て延期**する。延期期間は症例毎に以下のカテゴリーに分けて決定する。

カテゴリー1) 緊急/至急

カテゴリー2) ケースバイケース：原則「延期」

カテゴリー3) さらに通知があるまで延期：原則「中止」

- ・**内視鏡診療の当日、全例で検温し、不顕性感染者のスクリーニングの詳細な問診を聴取**する。予期せず「感染の疑い」と判断された場合は、院内感染管理室に連絡する（PCR検査などの感染診断を優先すべきかどうか個別対応する）し、内視鏡診療目的が「緊急/至急」に該当しない場合は、内視鏡診療は原則として延期する。

2. COVID-19流行期における消化器内視鏡診療の感染対策（2020年4月20日現在）

消化器内視鏡診療はエアロゾル発生の可能性があるため、**新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず全ての消化器内視鏡において**、実施者および介助者は、以下の基本の防護具（**標準予防策 + 空気予防策 + 接触予防策**）を行う。（「院内感染管理室」のマニュアルに準拠）

- ・基本の防護具：キャップ、ガウン、手袋（二重）、ゴーグル（またはフェイスシールド）
N95マスク（下）+サージカルマスク（上）

防御の強化策：血液や唾液などの暴露が多い手技の場合や、感染者(疑いを含む)を対象とする場合は、足カバーを着用し、首回りもビニールエプロンやビニールゴミ袋で覆い防護する。

※着用は、検査室（救急処置室・病室）に入る前に行う。

※脱衣は、検査室（救急処置室・病室）内でN95マスク以外を外す。

※个人防护具は正しく装着すること。

※**防護具を着用していても手指衛生が不十分では意味がない。**

手指衛生をしっかりと行うこと！

- ・医療機器や環境の消毒：アルコール消毒あるいは次亜塩素酸で消毒する。

3. COVID-19感染者（疑いを含む）に対する対応（2020年4月20日現在）

- ・実施場所：原則として陰圧室で行う。